



学校教育目標

学校だより くんとう 薫 陶

令和5年2月26日(日)

かほく市立七塚小学校

校長 宗廣 進一

「自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成」



がんばれ卒業生！がんばれ在校生！

ぽかぽかと暖かい日になったと喜んでいたら瞬く間に風雪が戻ってきたりして、衣服の調節などで体調を崩さないようにするのも一苦労です。七塚小学校では新型コロナウイルス感染症は一段落しているようですが、インフルエンザやウイルス性の胃腸炎などが感染拡大中です。十分にお気をつけてください。

さて、6年生を送る会が一昨日の金曜日に開催されました。それぞれの学年が練習を重ね、事前に撮影しておいた出し物の動画を6年生が多目的室で視聴しました。また、6年生が視聴している様子を撮影した動画は、後日それぞれの学年で視聴します。1年生から5年生までの児童は、七塚小学校で今まで頑張ってきた6年生の卒業を心からお祝いし、いろいろな工夫を盛り込んだ楽しい出し物で感謝の気持ちを伝えていました。また、6年生は在校生や職員の温かい気持ちを受け取りながらしみじみと6年間を振り返り、中学校進学への夢を膨らませ不安を希望に換えることができたことと思います。心が通い合う良い会になったと思います。そして、5年生は在校生のまとめ役となってこの会の企画・運営をやり遂げ、向こう一年間の最高学年としての自覚を持つことができたようでした。

明日からは3月16日の卒業式に向け、卒業生は小学校を巣立ち中学校に向かって飛び立つ気持ちをさらに充実させ、式典に臨む心の構えと作法を身につけていきます。昔から日本に伝わる相撲や柔道、剣道など、武道にゆかりのある言葉に「心・技・体」という言葉があります。強くなるためには、技だけでなく「心と技と体」3つの力をよく鍛えることが大切であるという意味ですが、このことは武道だけでなく全てのことに通じるものだと思います。卒業式での立派な態度は、これまでお世話になった周りの人たちへの感謝の気持ちを込めて、最後まで立派な態度で表現しようとする強い気持ちがあつてのことに違いありません。そのような心が土台となって、証書の受け取り方や返事の仕方、歩き方や座り方、歌声など、6年間で身につけてきた理にかなった技が十分に表現できるのでしょう。また、寒い中、1時間ほどの時間、姿勢を崩さずに保ち続けるための体力も身につけていなければなりません。

そして、1ヶ月後に始まる中学校生活では、勉強や部活動など、活躍の舞台はますます広がります。さらに「心・技・体」のパワーを充実させ、出し惜しみせずに発揮し、自己実現させてほしいと思います。



1年生一人一人が力を発揮し、新入生を迎えた「年長さんを迎える会」

2月7日(火)の2-3限目には、1年生が来年度入学予定の園児を招いての体験入学会「たのしいわくわく1年生集会」を開催しました。この会のために、1年生は何日も前から準備に精を出し、当日は1年生代表児童による「はじめのあいさつ」に始まり「おわりのあいさつ」で終えるまで、勉強体験や学校案内、プレゼント渡し、インタビューなどで楽しく触れあいながら、1年生それぞれが自分の役割をしっかりと果たすことができました。新1年生もお兄さんやお姉さんに優しくされながら学校生活の一端に触れることができ、安心することができたと思います。1年生の皆さん、ありがとう！！



清水賞(善行賞)受賞「おめでとうございます！」

6年生… 亀野結衣さん

この一年間、「ひたむきな努力」や「誠実な態度」「優しい心と思いやりある行動」などで周りを清々しい気持ちにさせてくれたことが認められました。

1年間のご支援、ありがとうございました。

この1年間、本校児童は、毎日の学習をはじめ各種行事、掃除、給食、休み時間などのたくさんの活動に取り組む中で着実に成長し、自信あふれる言動が数多く見られるようになり、学習や体力面でも大きな成果が表れています。

これも、ひとえに保護者・地域の皆様の支えがあつてのことと感謝しております。ご家庭で励ましてくださった保護者の皆様、応援し、声をかけてくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。

今後とも変わらぬご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。